

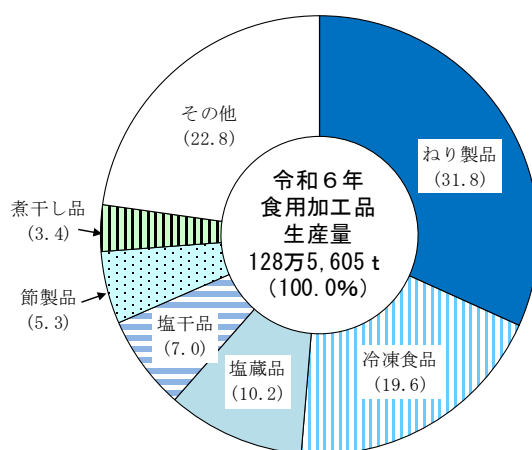
【調査結果の概要】

令和6年の食用加工品の生産量（焼・味付のりを除く。以下同じ。）は128万5,605 tで、前年に比べ4%減少した。

主な加工種類別にみると、ねり製品は40万8,262 t、冷凍食品は25万1,715 t、塩蔵品は13万574 t、塩干品は8万9,579 t、煮干し品は4万3,982 tで、前年に比べそれぞれ3%、5%、8%、8%、23%減少した。節製品は6万8,638 tで前年に比べ4%増加した。

生鮮冷凍水産物の生産量は88万5,721 tで、前年に比べ10%減少した。

図1 食用加工品生産量の主要加工種類別構成割合（全国）



注：表示単位未満を四捨五入しているため計と内訳が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 主要加工種類別食用加工品及び生鮮冷凍水産物の生産量（全国）

区 分	単位	令和5年	6	対前年差	対前年比
食 用 加 工 品	t	1,336,721	1,285,605	△ 51,116	96
うちねり製品	〃	421,356	408,262	△ 13,094	97
冷 凍 食 品	〃	263,668	251,715	△ 11,953	95
塩 蔵 品	〃	141,648	130,574	△ 11,074	92
塩 干 品	〃	97,002	89,579	△ 7,423	92
節 製 品	〃	66,186	68,638	2,452	104
煮 干 し 品	〃	56,788	43,982	△ 12,806	77
焼・味付のり	千枚	6,536,922	6,121,041	△ 415,881	94
生 鮮 冷 凍 水 産 物	t	985,880	885,721	△ 100,159	90

- 加工種類とは、製造方法や保存方法により水産加工品を分類したものである。
なお、水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された、食用加工品及び生鮮冷凍水産物をいう。
- 食用加工品の計には焼・味付のりは含まれていない。
- 令和5年値は2023年漁業センサス結果である（以下同じ。）。

【調査結果】

1 食用加工品の主な品目別生産量

(1) ねり製品

ねり製品の生産量は40万8,262 tで、前年に比べ3%減少した。

品目別にみると、かまぼこ類は35万8,146 t、魚肉ハム・ソーセージ類は5万116 tで、前年に比べそれぞれ2%、9%減少した。

図2 ねり製品生産量の品目別構成割合（全国）

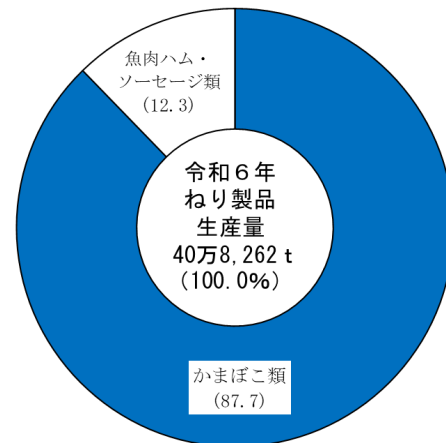


表2 ねり製品の品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
ねり製品	421,356	408,262	△ 13,094	97
かまぼこ類	366,023	358,146	△ 7,877	98
魚肉ハム・ソーセージ類	55,333	50,116	△ 5,217	91

(2) 冷凍食品

冷凍食品の生産量は25万1,715 tで、前年に比べ5%減少した。

品目別にみると、魚介類（切り身、むきえび等の加工品）は13万9,445 t、水産物調理食品は11万2,270 tで、前年に比べそれぞれ3%、6%減少した。

図3 冷凍食品生産量の品目別構成割合（全国）

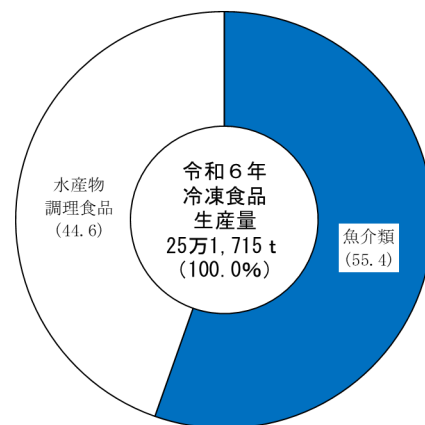


表3 冷凍食品の品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
冷凍食品	263,668	251,715	△ 11,953	95
魚介類	144,100	139,445	△ 4,655	97
水産物調理食品	119,568	112,270	△ 7,298	94

(3) 塩蔵品

塩蔵品の生産量は13万574 tで、前年に比べ8%減少した。

主な品目別にみると、さけ・ますは7万6,565 t、さばは1万9,618 t、たら・すけとうだらは3,044 tで前年に比べそれぞれ12%、13%、18%減少した。

図4 塩蔵品生産量の主要品目別構成割合（全国）

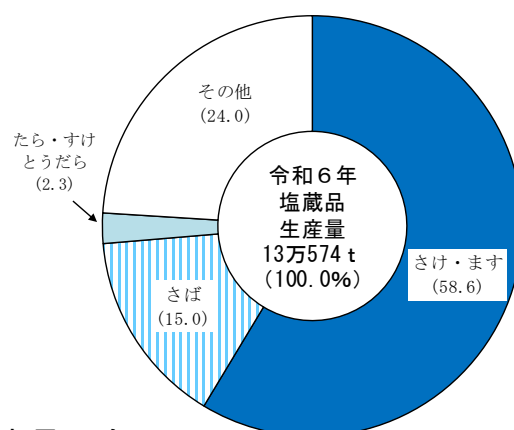


表4 塩蔵品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 蔵 品	141,648	130,574	△11,074	92
うち さ け ・ ま す	87,286	76,565	△10,721	88
さ ば	22,488	19,618	△2,870	87
たら・すけとうだら	3,726	3,044	△682	82

(4) 塩干品

塩干品の生産量は8万9,579 tで、前年に比べ8%減少した。

主な品目別にみると、ほっけは3万1,865 t、あじは1万6,659 t、さばは9,469 t、かれいは3,212 tで、前年に比べそれぞれ5%、12%、12%、6%減少した。いわしは7,276 tで、1%増加した。

図5 塩干品生産量の主要品目別構成割合（全国）

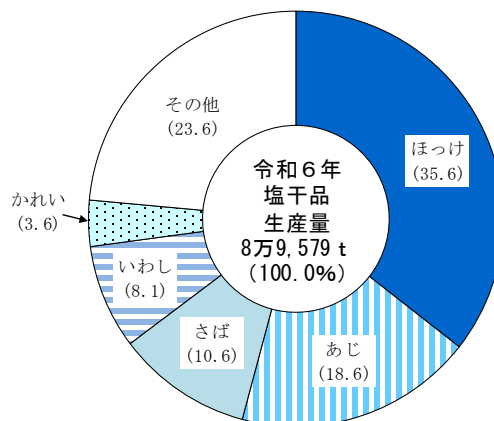


表5 塩干品の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
塩 干 品	97,002	89,579	△7,423	92
うち ほ っ け	33,526	31,865	△1,661	95
あ じ	19,008	16,659	△2,349	88
さ ば	10,703	9,469	△1,234	88
い わ し	7,228	7,276	48	101
か れ い	3,435	3,212	△223	94

2 生鮮冷凍水産物

生鮮冷凍水産物の生産量は88万5,721 tで、前年に比べ10%減少した。

主な品目別にみると、いわし類は33万8,364 t、さば類は17万434 t、ほたてがいは6万8,240 t、さけ・ます類は4万7,417 t、かつお類は2万180 tで、前年に比べそれぞれ4%、10%、38%、20%、4%減少した。

図6 生鮮冷凍水産物生産量の主要品目別構成割合（全国）

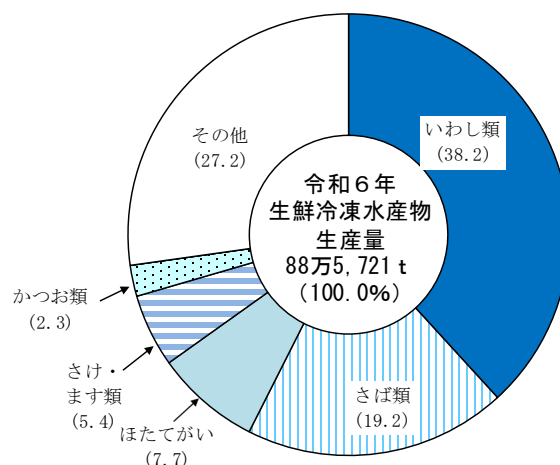


表6 生鮮冷凍水産物の主要品目別生産量（全国）

区 分	令和5年	6	対前年差	対前年比
	t	t	t	%
生 鮮 冷 凍 水 産 物	985,880	885,721	△100,159	90
うち い わ し 類	351,420	338,364	△13,056	96
さ ば 類	189,664	170,434	△19,230	90
ほ た て が い	110,945	68,240	△42,705	62
さ け ・ ま す 類	59,045	47,417	△11,628	80
か つ お 類	21,088	20,180	△908	96